

公的機関と市民社会のよりよい協働をめざして

～なごや地球ひろば利用不承認から考える～

グローバルな市民社会形成の普遍的な理念として広く認識されている人権と平和をめぐる、公的機関と市民社会における立場と主張はときに同じ方を向き、ときに異なります。立場と主張の相反は異セクター間の関係においてたびたび生じます。

2023 年秋、**名古屋 NGO センターが公的機関との間で人権と平和をめぐる経験した出来事**は、そのような事例の一つと言えるでしょう。

立場と主張の相容れない関係性が不可避であるとき、公的機関と市民社会の協働はどのようにして可能でしょうか。人権と平和の理念はどのような条件のもとで、共通の土台となりうるのでしょうか。

このイベントでは、なごや地球ひろば利用不承認の事例をもとに、両者のよりよい協働のあり方について課題を提起し、人権と平和を軸とする協働の可能性について考えます。

【開催日時】 9 月 20 日（土）13：30～16：00

【開催場所】 なごや人権啓発センター ソレイユプラザなごや（地下鉄伏見駅南へ徒歩 7 分）

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目 23 番 13 号伏見ライフプラザ 12 階

TEL：052-684-7017

【開催形式】 対面とオンラインのハイブリッド形式（登壇者は全員対面です）

【参加費】 無料

【参加申込】 対面の方もオンラインの方も、下記の URL よりお申込みください

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/A6yZTqDSSAuSy33hPCbOVQ>

申込み受付け後、Zoom の URL と資料をダウンロードする URL をお送りします

【関連資料】 会場では資料を配布しませんので、各自必要に応じてプリントアウトをお願いします

・西サハラ講演会チラシ、施設利用不承認書、公開質問状、JICA 中部の回答、名古屋 NGO センターの見解（<https://nangoc.org/2024/11/21/koukai/>）

・アムネスティ日本の遺憾表明（https://www.amnesty.or.jp/news/2025/0119_10566.html）

【プログラム】

○開会あいさつと趣旨説明（5 分）

○名古屋 NGO センターが経験した施設利用不承認について（40 分）

- ・経緯と名古屋 NGO センターの対応（名古屋 NGO センター政策提言委員 西井和裕）
- ・国際人権団体の見解（アムネスティ日本理事長 内藤裕子さん）
- ・西サハラ問題に見る市民社会と行政の関係のあり方（西サハラ友の会事務局長 松野明久さん）

○人権と平和を軸とした協働の課題について（40 分）

- ・名古屋 NGO センター共同代表 中島隆宏さん
- ・RUMI Jepang（在日インドネシア人の家）佐伯奈津子さん
- ・元関西 NGO 協議会監事 池住義憲さん

〔5 分間の休憩〕

○意見交換 ―公的機関と市民社会のよりよい協働をめざして―（45 分）

※モデレーター 神田浩史さん（泉京・垂井理事）

○参加者のコメント（10 分）

○閉会あいさつ（5 分）

【記録の公開】 記録した録画を名古屋 NGO センターのホームページにて公開します

【主催】 特定非営利活動法人名古屋 NGO センター

【協力】 西サハラ友の会／アムネスティ日本（なごや栄 G・わや G）

【後援】 日本平和学会東海・北陸地区研究会

